

第9回加茂市立小中学校適正規模等検討委員会 会議報告書

- 1 開催年月日 令和4年11月10日(木) 15:00~15:30
- 2 会場 加茂市役所 5階 全員協議会室
- 3 出席者 委員 : 遠藤英和委員(会長)・滝沢茂秋委員・中村幸一委員・皆川輝一委員・土田秀男委員・小畑一二美委員・阿部奈穂子委員・亀山弘子委員・茂野芳子委員・中林利恵委員・市村正子委員・高畑結城子委員・目黒悦子委員・笹川裕子委員(14名)
※オンライン参加:小出浩輔委員・松原啓委員(2名)
- 事務局等 : 藤田市長・山川教育長・草野庶務課長・阿部学校教育課長・有本社会教育課長・五十嵐スポーツ振興課長・吉田学校教育課課長補佐・長澤庶務課課長補佐・廣野学校教育課係長(9名)
- オブザーバー : ※オンライン参加…乙川智子教育委員・田邊俊樹教育委員・藤田和子教育委員(3名)
- 報道関係 : 2社

4 会議の概要

- 開会
- 会長挨拶
- 議事
 - I 答申
- 市長挨拶
- 閉会

□ 加茂市教育委員会の諮問機関である「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会」(委員18名)は、令和3年8月の発足以降、将来の望ましい教育環境や目指すべき基本的な方向性について議論を重ね、同委員会がとりまとめた「加茂市立小中学校における適正規模・適正配置の在り方 答申」が遠藤会長から山川教育長に提出された。

□ 児童生徒数の減少に伴い、学級数の減少、複式学級の増加、配当教職員の減少等が問題視されていることから、望ましい学校規模を小学校12学級から18学級(各学年2学級から3学級)、中学校9学級から18学級(各学年3学級から6学級)とし、全学年でクラス替えが可能、特に中学校では全教科に免許所有教員(主要5教科に複数教員)を配置するものとしている。

□ 適正配置は、片道で小学校が概ね4キロメートル以内、中学校が6キロメートル以内という国の基準を踏まえつつ、スクールバスを活用するなど児童生徒の負担を軽減するものとしている。

□ また、校舎の老朽化や耐震化の遅れについても指摘し、校舎の新築を含めた教育環境の整備などを付帯意見として加えている。

□ 答申を踏まえ、加茂市教育委員会と加茂市は学校適正化方針の策定に着手する予定である。

